

管理所レビュー VOL.12

(R 4.10.24 水源林管理所)

令和4年度、第12回のボランティア活動が、10月15日(土)に実施されました。

当日は、朝9時頃まで小雨がぱらついていましたが、時間を追うごとに天気も回復し、無事に間伐作業を実施することができました。皆様、大変お疲れ様でした。

今回は今年度最後のボランティア活動となります。最後の活動にあたり、一点注意喚起いたします。

活動拠点となっているストックヤードへの行き帰りの際、管理所前での道路の横断は、人数がまとまってから決められたエリアで行うようにしてください。特に帰りは、バラバラで戻って来る事が多く、管理所前の決められたエリア以外での危険な道路横断が目立ちます。可能な限り交通整理員を配置しますが、安全のための道路横断ルールの厳守をお願いいたします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 活動当日の様子



雲のかかる朝の鳥の胸山。



午後には天気回復。



準備体操をしっかりと。



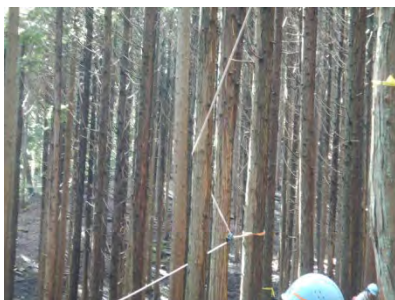
いってらっしゃ〜い!



試行! 斜め切りから切ってみました。



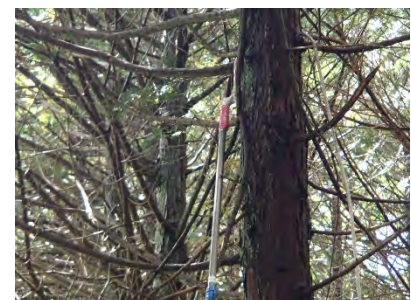
大きい枝は途中を切ってから!



ロープが変ですね!



みんなで力を合わせて。



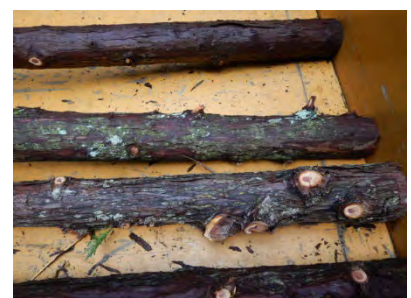
ロープはなるべく高い所へ!



動く心配がある材は固定



浮いた材の玉切りは注意して!



枝はきれいに切りましょう!

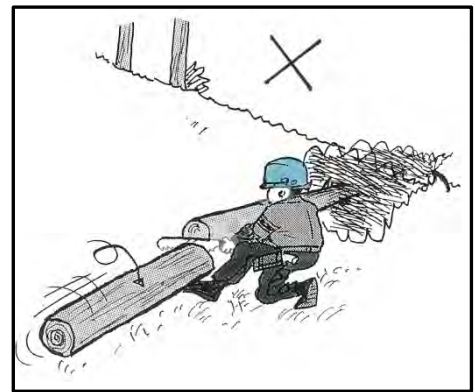
2 玉切り作業時の注意事項について

(1) 玉切り作業は斜面上部から

玉切り作業を行う際、斜面の下側で作業すると材が切離された瞬間に転がり、足の上ののったり、当たったりするため危険です。玉切り作業は必ず斜面上部で行い、足を材の下に入れないようにしてください。特に重量のある材の切離し時は、必ず斜面上部で作業してください。

また、材の状態をよく観察し、切離した材の動きによって危険が生じないように、ロープなどで材が動かないように固定してください。

※イラストは全て悪い(危険な)例です。



(2) 同一の材を同時に玉切りしない

2人以上で同一の材を同時に玉切るとノコギリが挟まれ、切り難くなるので注意が必要です。

時間短縮のため、同時作業となった場合は、作業者同士で声を掛け合い、同時作業の時間を出来る限り短くし、材の動きや切離した時の状態を予測し、道具の破損や事故が起きないように注意して作業してください。

また、(1)にも気を付けてください。



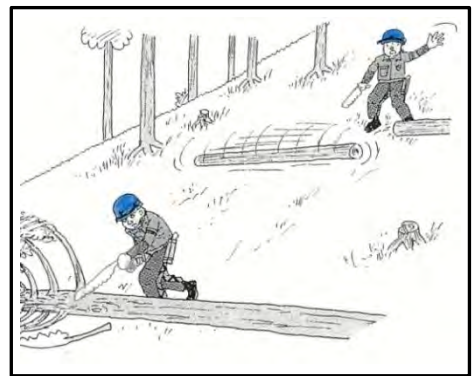
(3) 上下作業をしない

斜面で作業を行なう場合、必ず作業者の位置が上下にならないようにしてください。

玉切り材が転がったり、浮石や木片が転がり落ちたりして大変危険です。

上下作業になりそうな場合は、作業者同士で声を掛け合い、作業の順番等を調整してください。

また、上下の位置関係になっている作業者が気が付いていない場合は、周囲の作業者が注意喚起の声かけをしてください。



(「伐木造材作業者必携」より一部抜粋)

3 ご参加、ありがとうございました！

今回の活動に、環境保全活動に積極的に取り組んでいる横浜市管工事協同組合様と水ing株式会社様(今回は体験での参加)にご参加いただきました。

ボランティアの会の皆さん、ご協力ありがとうございました。

横浜市管
工事協同
組合様
(掲載許可済み)



水ing
株式会社様
(掲載許可済み)



※ 次回、10月27日(木)は、晴れ時々曇り、最高気温13度の予報となっています。

★それでは次回10月27日、気をつけてお越しください。